



作文1部

全国農業協同組合中央会会長賞

じいじのおこめ

栃木県那須塩原市立西小学校一年
前垣 百

わたしのじいじは、おこめをつくっています。わたしはあかちゃんのころから、じいじのおこめをたべておおきくなりました。いえのまわりにはたんぽがあつて、ちいさいころから、じいじのたうえきにのせてもらつたり、たねまきをしてつだつたりしています。

じいじはおこめづくりがじょうずです。じいじのおこめは、とてもおいしいです。とくに、ばあばがつくつてくれるおにぎりは、おいしくてだいすきです。

わたしはじいじに、

「どうしてじいじのおこめはおいしいの。」

ときいてみました。するとじいじはむねをばんばんたいて、「おこめのこえをきいて、こころをこめてつくつているからおいしいんだ。」

といつていました。わたしはおこめのこえをきいたことがないので、そうぞうしてみました。きつとよくかんさつして、おこめがほしいえいようや、おみずをあげることかなとおもいます。じいじは、たくさんたんぽをつくっています。まいにちあちこちのたんぼにいつて、おこめのせわをしています。おこめにもいのちがあつて、じいじはいのちをたいせつにそだてているのだとおもいました。

わたしはときどき、ママときんじよのひとといつしょにごみひろいにいきます。たんぽのよこにはごみがおちています。わたしは、ごみをみるとおこりたくなるし、かなしいきもちになります。ごみをするひとには、おこめをそだてているひとのきもちをそぞうしてほしいとおもいます。

わたしはじいじのきもちをしつて、今までよりもじいじのおこめがすきになりました。そして、ありがとうのきもちでごはんをたべたいとおもいました。わたしは、じいじがこころをこめてつくつたおいしいおこめをたくさんたべて、これからもおおきくなりたいです。